

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・急激な気温の上昇で、客が暑い時期に売れる商材を多く購入したことや、来客数が多かったため、良くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・気温が高くなってきているので、ソフトドリンク、アイスの販売が多い。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・4月にしばらく暇な時期があり心配したが、5月は良くなったのでほっとしている。来客数がかなり多くなっており、宴会の動きも良い。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・地方都市のため、努力次第で景気を良くすることは可能である。圏外からの誘客に力を入れれば、域内景気はおのずと浮揚する。
		その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・葬儀の依頼が過去最高を記録し、相談に来る客数も過去最高となっている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・夏に向かって、エアコン、冷蔵庫等の動きや再生可能エネルギー関係も少しずつ上がってきている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・5月という爽やかな季節で、観光目当ての来客が多かったため、3か月前と比べると大分良くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年はゴールデンウィークの売上が平日の6割程度であった。今年は8割程度で推移している。フリー客の増加が客数増につながっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動ブレーキなど安全装置への関心が高く、商談数もやや増えている。
		自動車部品販売店（経営者）	単価の動き	・単価の高い物も、きちんと勤めることで販売が伸びている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・春以降、売上が前年同月を超えている。来客数も前年並みかやや多い状況である。客単価も上昇しており、景気の回復がみられる一方で、宴会売上は低調で、企業や各種団体のマインドは、まだ上向いていない。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク前半は海外からの個人旅行者を中心に高単価で推移し、中盤から後半はスポーツの団体客で安定した月であった。3～4月のマイナス分を十分に埋めてお釣りがくるほどの売上が確保できたことが大きい。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・大型観光キャンペーンのプレイヤーとして、各鉄道会社の新型車両や地元名刹の改修など話題が多く、にぎわいが日々増してきている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・今年のゴールデンウィークは日並びも良く、天候も安定していたことから、来客者数も増加している。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・客単価の伸び悩みのためか、売上は大きく伸びてはいないが、3か月前や前年と比べて、来客数はやや上向きである。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・天候に恵まれたゴールデンウィークから始まった5月は、その後も天候が安定し、順調な来客数と売上となっている。高齢者の来場が多い。
		ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・来場予約は徐々に回復してきており、前年同時期をやや上回るペースで、上向いている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・進まなかった物件のうち、動き出した計画がいくつかあり、新規依頼も数件入ってきている。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク明けから客、売り手共に、動きが良くなっている。成約件数も軒並み良くなり、上向き傾向である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新学期が始まって1か月だが、制服等を1セットずつ入学式までに学校販売で買っていた子が、学校が始まり、クラブに入学したりすると追加購入がある。また、旅行などもあり、今月は動きが良い。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・前年と比べると来客数は半減しているが、ゴールデンウィークを中心に多くの人が集まっている。	
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・5月は行楽シーズンで期待していたが、天候不順、真夏日、猛暑日と続き、熱中症になるような方も出てきているので、客も外に出ることを控えている。これでは、景気は良くならない。	
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、消費者の積極的な購買意欲は見えず、必要な物だけを購入するケースが多い。買換え需要は徐々に出てきているものの、商品単価が下がっており、売上を伸ばすのは厳しい。	

一般小売店〔家電〕（経営者）	単価の動き	・都会では景気が良くなっているようだが、地方には、まだそういう兆しはない。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・販売量というか、客単価が若干下がっている。2つ3つ買うところを1つにするなど、1人当たりの買上単価が若干下がっている。
百貨店（営業担当）	来客数の動き	・食品催事は引き続き好調であり、来客数の増加に寄与しているが、その他商品群への波及効果はない。婦人、紳士衣料の不振は依然として継続している。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・衣料品の低調は継続しており、回復の兆しがない。食品や化粧品などの必需品や消耗品の好調は続いており、店全体では、3か月前と変わらない。
百貨店（副店長）	お客様の様子	・前月に引き続き、特に若年層向けの衣料品がやや持ち直している。ただし、長い付き合いの外商客の高齢化が進み、購買意欲が著しく減退しているのが悩みである。断捨離という言葉をよく耳にする。世代交代を図らなくてはならないが、新世代の客は消費に対する考え方も旧世代とは全く異なるため、これまでの外商の商売の仕方を転換する時期にきている。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・売上、来客数共に、前年の9掛けである。食品売場の数字も増えてきていない。客の買物の仕方が非常にシビアで、本当に必要な物以外は、いくら安くても買わない。
スーパー（統括）	お客様の様子	・ゴールデンウィークや母の日等のハレの日需要に対する支出は堅調な伸びを見せているが、日常に戻ると衝動買いを抑えるためにメモを持って買物をする様子が顕著で、いまだ景気回復はない。
スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・ここ数か月、変動はない。販促の仕掛けは多くなっており、一時的な集客率は上昇するが、週平均での来客数は変わらない。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・中途半端な天候や晴天も大分続いたが、変な時に陽気が悪くなったりで、来客が若干少なくなってきたおり、それに応じて、売上も若干減ってきている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検や一般修理は、目標を達成している。中古車販売は、車種や金額指定は当然あるが、車種はともかく、低い金額指定で、とにかくその場しのぎといった客が多い。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・当地の自動車産業の輸出は、以前ほどの勢いはないが、環境への配慮、安全性に優れているため、北米を中心にいまだ需要は続いている。そのためなのか建設も含めて、人手不足が慢性化している。小売業はあまり活気がない。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・2～3か月前と比べて徐々に良くなっているが、今月はゴールデンウィークで、従業員の実働日数が極端に減ったため、車検や中古車販売台数がやや落ち込んでいる。ゴールデンウィークの影響がなければ、2～3か月前と変わらず、少しずつ良くなっている。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売、身の回りの人や車、来店客の動き、全てがあまり盛り上がりおらず、静かである。盛り上がるような設備投資、インフラ整備などの良い話が、周りにはない。
住関連専門店（経営者）	お客様の様子	・季節の移り変わりのなかで、前年並みの商品動向はあるものの、前年実績を上回るものではなく、客単価、来客数も同様である。店舗の設備投資を行う企業も散見されるが、必要最小限の補修や分煙対策がほとんどである。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク前半は、天候にも恵まれ順調に推移したが、その後来客数の伸びが止まり、期間を通してだと、前年比マイナスである。週末に天候が崩れることが多く、夏物の販売スタートが遅い。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	お客様の様子	・ゴールデンウィークの結果は、思わしくなかった。連休中に売上の山が作れず、最大9連休といわれた通り、客の購買需要もあらゆる分野に分散している。その一方で、前年より1週間後にずれた母の日需要はしっかりと確保できたので、良くも悪くもない。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・このところ客単価及び来客数が、減少している。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・気候が良くなり、客の出足は好調になるとみているものの、動きが鈍い。

旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・景気動向に変化がみられない。国内旅行は、前年のゴールデンウィーク並みであり、需要の増加はみられなかった。海外旅行は北朝鮮や欧州のテロなどの影響が出て、渡航先の限定や減少がみられる。
タクシー運転手	販売量の動き	・夜の動きはやや悪い。日によって違うが現状は前年比102%くらいである。
タクシー（経営者）	お客様の様子	・夜の動きは良くないものの、昼の動きが良かったため、前年同月と比べて7%の増収である。
タクシー（役員）	お客様の様子	・客の様子から判断している。
通信会社（経営者）	お客様の様子	・客の反応は少なく、新規加入になかなか結び付かない。
通信会社（店長）	お客様の様子	・修理費用より安い商品が次々に完売となり、品薄になったため、修理依頼が増えてきている。
通信会社（営業担当）	単価の動き	・特段大きな変化はないうえ、景気を刺激するようなポジティブな要素もほとんどない。逆に原油高騰など、毎月の生活費の負担増が目に見える形で生じているため、財布のひもが固くなる傾向にある。
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、それほど変化がみられない。
美容室（経営者）	競争相手の様子	・今年は全国チェーンの低料金店舗の出店はないものの、各美容院とも競合店が多く、四苦八苦している。固定客も高齢化しているため、売上が停滞、あるいは減少している。
美容室（経営者）	来客数の動き	・日経平均株価が2万円に近づくと、消費に対する意欲が上がってくる。まだ給与や残業手当等に変化はないが、手持ち資産の増加が、余裕を生む。
その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・今月は周年イベントが行われたが、集客率は例年並みである。また、販売量も、ほとんど横ばいのため、全体的に変わらない。
その他サービス [イベント企画] (職員)	お客様の様子	・地方では、景気が良くなるような要因は見当たらない。
設計事務所（所長）	来客数の動き	・多少の明るさもあるが、実際の動きにはなっていない。
設計事務所（所長）	競争相手の様子	・同業者の集まり等でも忙しそうな業者は見当たらないし、そういう話も聞かない。
住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・年度が替わり、アパート、マンション等の問い合わせはなくなっている。貸店舗等の引き合いや不動産売買についても、これといった問い合わせもなく、景気が良いのか悪いのか、よく分からない。
一般小売店 [衣料] (経営者)	販売量の動き	・地元の名刹や大規模修繕が完了した神社などへ、観光客は割と来ているが、当店で買物をする客は、なかなかいない。
スーパー（経営者）	競争相手の様子	・販売価格が安くなっている。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・コンビニでは、毎週新商品が出てくる。しかし、日配品、弁当、おにぎり、総菜等の新規の動きが、このところ何となく良くない。客は新商品が発売になると手に取ってくれるのだが、反応が鈍い。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・競合店の進出で、やや悪くなっている。
衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・とにかく客が出てこない。当店の平均単価は3万円前後だが、セール用、目玉商材として、店頭で3~4万円する物を4,900円くらいの値段で出している。来店客は、それを見て手に取るのが精一杯で、買物までには至らず、全体に冷え込んでいる。かなり悪い。
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・5月はゴールデンウィークもあり、販売が増えない。
その他専門店 [燃料] (従業員)	販売量の動き	・販売量は減少しており、前年と比べても減少している。
観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・前年は大河ドラマの影響で、県東部は春の時期は比較的良好な状況だった。今年は、デスティネーションキャンペーンなどもまだ始まっていないため、集客が落ち込んでいる。
都市型ホテル (営業)	来客数の動き	・ゴールデンウィークがあり、客は行楽地に出かけてしまい、この期間は宿泊、宴会共に大幅減となり、厳しい状況である。

	タクシー運転手	来客数の動き	・観光地ではない地方なので、ゴールデンウィークは客からの電話で迎えに行くハイヤーと呼んでいる方法があるが、極端にその電話が少なくなりました。駅から乗る客も減少しており、営業回数も10回程度になっている。
	通信会社（局長）	それ以外	・今の若者がお金を使わないのもあるが、居酒屋の閉店や運転代行の数をみても景気が上向きとはいえない。
	ゴルフ練習場（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少している。
	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・予約が減っている。前年と比べても悪くなっている。
x	商店街（代表者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク中は、街中から人影が消えてしまっている。休日には街の中心商店街で買物をするとという雰囲気は全くない。
x	商店街（代表者）	お客様の様子	・デジタルカメラからの現像需要は多少あるものの、スマートフォンが主流になった現在、撮影数はかなり多くあっても、全てが保存できるため、店への現像依頼が全くない。客は、時々来店するが、必要な数枚のみを現像して済ませている。
x	家電量販店（店長）	販売量の動き	・今月上旬は、ゴールデンウィークということから行楽地への遊びへ出かけたのか、販売は振るわなかった。後半の好天でエアコンなどの季節商材が好調に推移したが、前年を達成出来なかった。商品単価は下落傾向である。スマートフォンなどは格安品が出て人気があり、数量は好調だが、単価は前年を下回っている。
x	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・常連客の来店回数が、そろって極端に減っている。
x	スナック（経営者）	来客数の動き	・飲食店だが、5月は特に悪い。原因は分からないが、連休明けもお小遣いの具合なのか、本当に良くない。
x	通信会社（経営者）	販売量の動き	・受注が減少しているなか、代金回収率も下がっている。回収が出来なければ支払も出来ず、悪循環そのものである。
企業 動向 関連 (北関東)	その他製造業 〔環境機器〕 （経営者）	受注量や販売量の動き	・3つの事業柱が完成し、売上、利益共に、好調である。第1、第2の柱はここ3～4年は微増で安定している。第3の柱として2012年より始めた5メガワットの太陽光発電が完成して、安定した売電収入を確保し、全体の業績に貢献している。
	化学工業（経営者）	取引先の様子	・東京オリンピックに関連する仕事が増え入り、業種によるばらつきはまだあるものの、上向いている。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・見積依頼はそれなりにきており、受注も微増である。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・油圧ショベル向けの仕事が増加し、フル生産に入りつつある。また、新規案件の問い合わせも増加傾向にある。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業の景況感が改善している。半導体製造関連企業で受注増の動きがみられるほか、自動車関連も底堅く推移している。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・4月下旬から多少良くなってきている。これが一過性でなければ良い。
	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・今月は好天が続き、来場者数、売上共に前年実績を達成している。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・出張ワークショップでの動きはややあるが、営業のメインである生産受注は、低迷が続いている。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上は前年と変わらない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業他社を含め、当地方でも全体的に安定した仕事を確保しているようである。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の受注、販売等の様子は、良い、悪い、普通とさまざまで、総体的にあまり変わらない。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・北米向け自動車輸出が横ばいで、1月に発表された中期計画台数を下回っている。3か月の内部情報を見ても、台数に伸びがない。

	その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き続き国内市場は低迷しており、前年度実績を維持するのが難しい。催事を行っても集客が厳しく、来場客の購入率も下がってきている。催事の成否は、上得意客次第となっている。3月の売上が好調だったため、6月の海外での展示会に期待している。
	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事中心で売上の95%を占める建設業である。現政権誕生後公共工事は順調に推移してきたが、この3月に初めて公共工事は前年割れとなった。特に地方業者にとって一番影響を受ける市町村発注が、前年比88%と大変厳しかったが、新年度は、市町村発注が同8%増の好スタートである。一方で、当社の受注は同90%と厳しい。今後の受注に力を注いでいきたい。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・季節的な要因もあるが、特に今年は動きが少ない。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・5月に入り暑い日も多く、夏物家電、エアコン、扇風機や夏物寝具、薄手の商材の動き出しはまずまずの物量である。ただし、全体的な物量は前年並みである。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・外国人向けの相部屋を前提とした宿泊施設が徐々に増えてきており、多くの外国人旅行者が利用している。しかし、旅行者のニーズが変化してきており、土産品などの小売業は、爆買の反動減で厳しい。
	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・年間契約の更新が大体終わった。前年より業務が増えた分、金額が上がって受注したところもあるが、単価は横ばいのため、実質的には変わらない。その他の年間契約も前年並みばかりで、金額を上げてくれたところはない。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・紳士服店では順調な売上を維持している。今月のチラシ出稿量は前月比101.6%で、今年初めて前年を上回っている。ただし、前年同月が前々年比80%と極端に悪かったため、一様に比較できない。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・能力増強や生産性向上などの前向きな設備投資は、まだ十分ではない。一方、雇用の安定、人材不足を背景に、個人所得が堅実に伸びていることから、個人消費はやや堅調に推移している。
	社会保険労務士	取引先の様子	・例年よりも3月末の退職者が少なく、新規の中途採用も少ない。人の移動が少なくなっているようである。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数、受注量共に、特段変化はない。
	電気機械器具製造業（経営者）	競争相手の様子	・競争相手というか仲間の様子だが、当社より数倍大きい会社で、仕事が全くなし開店休業状態のところがある。当社はまだそこまで落ち込んでいないが、似たような仕事をやっているの、状況は悪い。いつどうなるか分からないという怖さがある。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・毎年ゴールデンウィークを過ぎた頃の販促広告は減る。飲食や物販店では、やや小休止的な傾向がある。
	× 食料品製造業（製造担当）	競争相手の様子	・過去にないほどの生産減少で、商品が動いておらず、工場休業日を1日増やすかどうかを検討しているなど、業界全体が思わしくない。
	× 電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月同様、主要取引先の電話システムの生産減少が続いている。
雇用 関連 (北関東)		*	*
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・生鮮食料品等の値上がりは若干気になるが、出荷は増えてきている。小売、衣料は、季節の変わり目で買換えもあり、住宅関連の増改築、新築等も目立ってきている。電子、電機、自動車関連の製造業は安定して伸びている。依然として介護職や看護等のサービス業は人手不足が目立っている。
	人材派遣会社（支社長）	採用者数の動き	・語学系の人材を中心に採用意欲は強く、引き合いが後を絶たない。
	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・ベースアップや新入社員の離職相談が多く、中途採用も進まない、との話を聞く。
	求人情報誌制作会社（経営者）	周辺企業の様子	・求人数は前年同月より増えているが、景気の先行きが不透明なため、求人誌に有料で募集広告を掲載する企業は少ない。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・先週ぐらいいから、来所する求職者が以前よりも更に少なくなっている。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人をつねに引する製造業では、新卒入社の影響が、やや求人が落ちてきている。

	学校 [専門学 校] (副校長)	採用者数の動き	・ 正社員雇用が多いようである。この時期、介護、建築などの特定業種は活発に求人活動をしているが、中小企業の動きは例年と変わらない。
	人材派遣会社 (管理担当)	それ以外	・ 自動車関連への派遣契約が終了となったため、やや悪くなっている。
x	-	-	-